

令和7年8月29日

令和7年8月26日 大阪府教育庁発表、懐風館高校の募集停止について

多くの市民が学んだ懐風館高校が令和11年度を持って閉校となることは非常に悲しく寂しい思いでいます。

少子化や私立学校志向が高まる中で志願者が減少し、大阪府条例のルールにより閉校となるとの大阪府教育庁より報道発表がありました。

羽曳野市ならびに羽曳野市教育委員会は平素より懐風館高校と連携し、民間事業者のアプローチによるPR活動はじめ地域イベントへの参加ならびに地元小・中学校と連携した取り組みなどを実施してきました。

また、この様な状況を踏まえ、市長・教育長が令和4年をはじめに大阪府教育庁において前教育長ならびに現教育長に幾度となく、懐風館高校と市との連携、地元小・中学校との連携した取り組み状況を訴え、存続に対して要望をまいりました。

そのような中、この度大阪府教育庁の発表につきましては残念であり痛恨の極みです。

また、地元羽曳野市のこどもたちが進路選択する上で選択肢の一つが無くなり、地元での学習機会が失われるのは残念です。

今後、羽曳野市ならびに羽曳野市教育委員会としましては、丁寧な説明を実施するよう大阪府教育庁に対しまして要望をまいりたいと考えています。

羽曳野市
羽曳野市教育委員会

これまでの経緯

平成24年	大阪府立学校条例制定 「3年連続定員割れが続く学校を再編計画の対象とする」
平成30年 ・令和元年	懐風館高校2年連続 定員割れ
令和2年	羽曳野市内6中学校（義務教育学校含む）および近隣市中学校の取り組みにより定員超
令和3年～ 令和7年	5年連続定員割れ
令和7年	高校再編計画案 懐風館高校他1校 令和9年度募集停止